

プロジェクターにつないで拡大表示をし、書き込んでいく。

小・義（前期課程）5年 道徳「心の管理人」

教師が1台使用

本時の目標

自由を大切にし、自律的に判断して、規律ある行動をとろうとする。

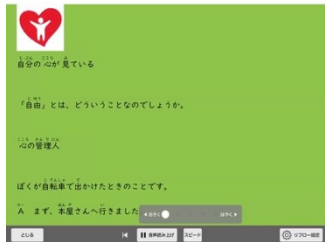

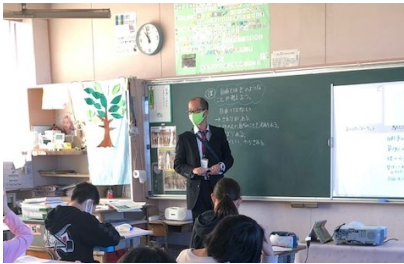
タブレット端末を活用するねらい

資料を大きく映し出し、書き込んでいくこと、児童が課題を正しく理解することができる

育成を目指す情報活用能力

- ・情報と情報との関係付けの仕方（知識・技能）
- ・情報の傾向と変化を捉え、類似点や規則性を見付け、他との転用や応用を意識しながら問題に対する解決策を考察する（思考・判断・表現）

〔学習の実際〕

	学習場面の概要	学習の様子またはタブレット端末画面
導入	1 学習課題をつかむ。 自由とはどのようなことか考えよう。	 本文と音声と同時に流す。
展開①	2 「心の管理人」を聞いて（読んで）自由について話し合う。 ◎ プロジェクターから読み聞かせの音声を流す。黒板には本文を映し出す。	
展開②	3 3つの駐輪場について相違点について確認する。 ◎ 3つの場面の映像を同時に提示する。	3つの場面を同時に並べて提示する。 
まとめ	4 学習について振り返る。 本当の自由とは相手のことを考え、自分勝手にしないことである。	映し出した画像の下半分に意見を書き込んでいく。

○ 児童生徒の変容（感想・授業中の様子・発言）

- ・三つの場面が並んでいたのだから違いなどを確認しやすかったという児童の意見があった。
- ・音声と本文があったので話の内容をしっかりと理解することができた。

○ 活用する上でのポイント

提示する画像は自分で加工した。最初から書き込むことを意識して下半分は空白にした。そのような準備をしておくことで授業でも使いやすく準備も時間がかからなくてよい。